一般質問

三宅 智加子 議員（公明党議員団）

チャイルドファースト社会の構築

問 最近では、祖父母による孫の育児参加も見られるようになり、祖父母力が生かされる環境づくりが必要である。祖父母が、アドバイスを受けることで孫育てに自信が持てるような（仮称）孫育て講座を実施してはどうか。

答 子育てにおける孤立化や不安感等の軽減には、子育ての先輩としての祖父母力や地域力等を生かしていくことが重要である。

現在行っているつどいの広場子育てサポーター登録制度や子育てサロン・子育て名人発掘事業など、今後も地域における子育て支援の充実に向け積極的に取り組んでいくとともに、祖父母や高齢者などを対象とした子育て支援や孫育て講座等の実施についても検討していきたい。

髙口 講治 議員（日本共産党議員団）

住宅リフォーム助成制度

問 以前から実現を求めてきた同制度は、市民や事業者に直接効果がある。改めて早急な実現と予算化を求めたいが、これまでの検討経過と今後の対応について聞きたい。

答 同制度はここ数年、国の経済対策交付金等を活用して新たに導入した自治体もあり、九州内でも地域事情にあわせ実施されている。

近隣では、筑後市が臨時交付金を活用して、また、福岡市や久留米市では、国の住宅エコポイント制度にあわせて実施されている。

住宅リフォームへの支援は、直接的には民間住宅への支援であり、公平性の観点から、対象者や事業の範囲、他の事業との兼ね合い、また、経済的な効果の検証などの課題もあることから、引き続き検討していきたい。

徳永 春男 議員（自由民主党議員団）

食育推進計画の今後の取り組み

問 食育推進計画の実施に当たり、食育推進会議の横断的構成の構築及び連携をどう考えるのか。

答 食育推進計画策定協議会のメンバーを中心とした、横断的構成による食育推進会議の設置に向けて検討している。

同会議では、計画の進捗管理や、関係機関及び団体による食育推進等を検討する予定である。

さらに、庁内の食育推進委員会との連携により、横断的な食育関連事業を進めたい。

市民はもとより、関係機関や団体、行政がそれぞれの役割を持って連携や協働を行いながら取り組みを進め、計画の基本理念である「食を通じた健やか、活き活き、共生のまち　おおむた」を実現したい。

松尾 哲也 議員（社民・民主・護憲クラブ）

三池港

問 本年八月に、新規の国の直轄港湾整備事業の着手対象とする港湾として四十三港が発表され、本県では苅田港が選ばれ、三池港は指定されなかった。新規の直轄港湾整備事業がなかったことが原因との指摘もあるが、どう思うか。

答 新規の同事業の計画がなかったことに加え、貨物取扱量実績が重要港湾百三港中、七十五位であったことが要因と言われている。中部有明地域の物流拠点としての重要性を強く訴えてきたが、考慮されず非常に残念である。

同港湾の選定は、翌年度以降の国の新規整備事業に関する方針であり、現在の三池港港湾計画では、新規整備事業の計画がないため、指定漏れによる直接的な影響はないと考える。

議会日誌

月	日	会議
7月	6日	議会改革特別委員会
	13日	議会改革特別委員会
	15日	各派代表者会
	21日	全員協議会
	27日	教育厚生委員会
	29日	総務委員会
		経済環境委員会
	30日	各派代表者会
		議会改革特別委員会
		建設委員会
8月	10日	議会運営委員会
	12日	経済環境委員会
	17日	総務委員会
		教育厚生委員会
	18日	教育厚生委員会
		建設委員会
9月	3日	各派代表者会
		議会運営委員会
	6日	総務委員会
	7日	議会改革特別委員会
	8日	教育厚生委員会
		新産業創造・閉山対策促進特別委員会
	9日	経済環境委員会
		建設委員会
	10日	各派代表者会
		議会運営委員会
		本会議（開会）
	15日	本会議（質疑・質問）
		調整委員会
	16日	本会議（質疑・質問）
	17日	本会議（質疑・質問）
		調整委員会
	21日	各常任委員会
	22日	各派代表者会
	24日	9月定例会
		議会運営委員会
		本会議（閉会）
		決算特別委員会
		議会報編集委員会
	28日	議会改革特別委員会